



# イングランド銀行の金流出

## フランス向け多額の賣買取引

ロンドン 七月三十日(火)  
イングランド銀行は昨廿九日、三百萬ポンド近くの金を輸出向に賣却した。これは一日間の賣買取引としては未曾有の多額である。

先頃來イギリスから金が盛んに流出しつゝあるが、この大部分はフランス向けである。フランスが斯く多額の金を輸入しつゝあるは、理協定を批准し、この結果在英米資金が不用になつたこと及びれる賠償本會議に對するフランス政府の政策。

等に基くものと信ぜられてゐる。斯くてロンドンの金利は益々高からんとする傾向にあり、殊にイングランド銀行の金準備の如きは一億四千二百五十萬ポンド、即ち藏相スノーデン氏が七月廿五日に述べた財政上のプライムソール・ライン(法定載貨吃水線、即ち最低準備)より七百五十萬ポンド減少してゐるのである。

これに鑑み諸新聞紙のロンドン經濟通信員は「イギリスの利上げを餘儀なくせしめるこの形勢を緩和するためにフランス銀行は助力すべきだ」といつてゐる。

なほ労働黨機關紙デーリイ・ヘラルド紙は次の如く述べてゐる。

「イングランド銀行は近く利上げせんとする徵候があるが、これ

は頗る憂慮すべきものである。

州檢事總長が有利な法律的見解を與へた爲めである。

週末には月末資金の需要嵩みに

コール・マネーは一割二分を唱へ

た。然し一方イングランド銀行よ

りの金引出高が過般來夥しく多額

に上つてゐるに拘らず同行の公定

割引歩合が今週も引上げを見なかつた事はウォール街に非常な安心

を與へてゐる。それは若しロンドン

が利上げすればニューヨークの

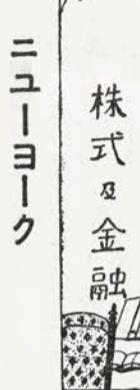
金融引締りは更に甚しくなる虞れ

があるからである。

證券市場では買氣は思惑的性質

を帶びた證券に集中して居り、政

府公債、外國公社債は閑散である



## ニューヨーク

### 株式及證券市況

公共事業株の買物旺盛

ニユーヨーク 八月三日(土)

今週の市場は初め低落した。然し後金利が硬化したに拘らず一

流株を筆頭に旺んに昂騰した。こ

れは商工業界方面からの情報が頗

る良く、殊にユース・チール

会社本年第二期の収益が平時に於

けるレコードを示した事等による

し其後金利が硬さしたに拘らず一

流株を筆頭に旺んに昂騰した。こ

れは商工業界方面からの情報が頗

る良く、殊にユース・

## 支那及銀塊

## イギリス爲替市況

今週はドイツ爲替、米英爲替が依然軟調で金現送點を下廻つてゐることは不安の種となつてゐる。支那爲替は落付、日本爲替は恥りを呈してゐる。

## 支那内外債整理

第一回會議を開催

上海七月廿八日(日)

国民政府内外債整理委員會の第一次會議は六日外交部長王正廷氏邸で委員三十餘名出席のもとに開會され討議を行つたが未だ何等具體的問題に觸れなかつた。たゞ委員會の事業の第一步として先づ内外債の總額及び調印期日成立の經過等を詳細明瞭とするため、財政部公債課長に命じて調査せしめこれを同委員會に報告せしめる事となつた。

## ロンドン銀塊市況

今週の市況に關し著名の銀塊仲買商は左の如く報じてゐる。

△サミュル・モンタギュ一商會

今週の市場は閑散であつた。活躍したのは主として支那で賣物も買物も出した。バザー筋は殆ど買氣を見せなかつた。然し卅一日(水)に至り來週出帆の船に積込むべく銀塊の買ひ註文を出した。ヨーロッパ大陸は引續きばつゝ賣つたがアメリカは大して動かなかつた

△錫 消費需要少量の爲め荷動きは少い。

尤も廿日(火)の午後になつて買氣を示した。

△モーカツタ・ゴールドスマツド

商會 露支關係好轉の報があつた

ので支那の買ひ註文は殆どなく相場は引弛み歩調をとつた。インド

から今來週の船で積出すために若干の買ひ引合があつたが一方これに對しては支那筋並に思惑筋から賣物が出た。アメリカは常に賣氣を示した。ヨーロッパ大陸は殆ど氣乘薄であつた。

△ニューヨーク金物相場

七月廿九日(月) (ビックバーグ渡)

△安質母尼 開散乍ら手堅い。

△アーヴィング金物相場

七月廿九日(月) (ビックバーグ渡)

△鉄錫(第二號鑄物用)一トントン

△錫(第二號鑄物用)一トントン

△鉛 落付。主として電線製造業者より相當の新規商談がある。

△亞鉛 底堅い。期近の需要相當である。

△錫 人氣は未だ十分恢復してゐないが、消費需要が良好となつた結果として空賣りの買埋めが相當活潑になつた。週末の氣配は頗る手堅い。

△錫 形勢は一般に左して變らない。然し前途は好望視されてゐる。それは賣手が餘り賣り焦らなくなつたこと及び需給關係が漸次見直しつゝあること等による。

△錫 相場は引締つた。週末に近付くに伴れ殊に著しかつた。當業者は最近小口買ひの方針をとつてゐたが目下は旺んに需要を出してゐる。在荷減少がその主因である。

△錫 買手は稍や買氣を示すやうになつた。尤も主として期近渡しに對するものである。

今週の市場は一般に買物が増加した。△銅 人氣は未だ十分恢復してゐないが、消費需要が良好となつた結果として空賣りの買埋めが相當活潑になつた。週末の氣配は頗る手堅い。

△錫 形勢は一般に左して變らない。然し前途は好望視されてゐる。それは賣手が餘り賣り焦らなくなつたこと及び需給關係が漸次見直しつゝあること等による。

△錫 相場は引締つた。週末に近付くに伴れ殊に著しかつた。當業者は最近小口買ひの方針をとつてゐたが目下は旺んに需要を出してゐる。在荷減少がその主因である。

△錫 買手は稍や買氣を示すやうになつた。尤も主として期近渡しに對するものである。

△錫 相場は引締つた。週末に近付くに伴れ殊に著しかつた。當業者は最近小口買ひの方針をとつてゐたが目下は旺んに需要を出してゐる。在荷減少がその主







## ボンベイ紡績罷業の近情

### 查問委員會兩當事者の中立を聽取

ボンベイ七月三十日(火)

ボンベイの紡績罷業は漸次常態に復しつゝある。ボンベイの紡績工場八十三工場中全作業を休止せられたものはボンの二三に過ぎず他は孰れも操業してゐる。尤も操業してゐる工業は概ね人員不足に悩まされてゐる。何となればボンベイの紡績職工十五萬人中目下働いてゐるものは九萬八千人に過ぎず、他は依然罷業を繼續してゐる故である。

一方これが解決策としてボンベイ政府は過般罷業査問委員會を任命した。委員長はカルカツタ高等法院判事ビアソン氏である。査問委員會は争議兩當事者、即ち會社側代表たるボンベイ紡績聯合會、職工側代表たる赤旗組合(Red Flag Union)についてその申立てを聽取記錄しつゝある。然し赤旗組合が査問會の判定に服従するや否やは疑問である。

尚ほボンベイ政府は冀に職工側の罷業見張り(Picketting)を打破すべく右に關する禁止令を出さんとしてゐたが最近に至りこの計畫を放棄した。これは注目に値する。

### 争議の發端

ボンベイ紡績罷業の近情は右の如くであるが、この争議の經緯を述べることからである。ボンベイの紡績争議を調停する爲め政府は一つの調査委員會(フォー

セット委員會と云ふ)を任命した

この委員會は本年三月報告書を出

したがそれには紡績業の合理化、標準化を提倡し、これを行ふ爲に労資双方の互讓協力を求めてゐる。所が紡績側は工場の能率増進を計る爲に右報告を自己に有利に利用せんとした。これは職工側に不快の念を抱かせた。偶々ワザ系の紡績會社が能率増進に藉口し職工六千人を減員した。これに對し職工組合側の左派的傾向にあるものが先づ立つて頑強に復職を要求し、交渉決裂に終ると共に罷業は忽ちボンベイ全紡績に波及するに至つたのである。

上記電報中にあつた査問委員會は右第一項に基いて出來たものである。職工側ではこの聲明を以て政府が紡績側に迎合して労働者を壓迫するものであると非常に反対の氣勢を揚げた。ピックケット禁止の項を政府が放棄したのはこれによるものと思はれる。

### 紡布關稅引上要求

争議の副産物として注意すべき

日本等は大影響を蒙る

譯である。

因みに本年上半期に於て日本から

輸出された綿織物は左の

如く激増してゐる。

(大藏省發表)

| 昭和三年上半期      | 昭和四年全      |
|--------------|------------|
| 数量<br>(千平方碼) | 数量<br>(千圓) |
| 二四、七五        | 二四、五三      |
| 二六、三九        | 二五、五五      |

イン卿を訪問し紡績の窮状を陳情し、且つ過去二、三ヶ月に於ける日本綿布輸入の激増せる數字を擧げて綿布關稅引上げの必要を力説

藤田總領事は一日朝吳代理市長

を訪問して休業中の青島糸廠、山東、華祥兩燐寸會社、和田製材所

の四會社が一日限り在寄宿舎の職工全部を退去せしむることになつたので萬一の場合を考慮して支那側の取締りを要求すると共に紡績職工に對する支那官憲の取締りが不徹底なるによつて起れる種々の實例をあげ嚴重なる交渉をなしめた。紡績職工の風潮は益々悪化するのみで出勤さへすれば給料にありつけるといふ對策の下に出勤率は寧ろ平常より増加しても意業は益々露骨となり鐘紡の如きは一日朝粗紡、精紡の怠業で原料の不足を生じ、織機九十八臺は運轉を中止するの止むなきに至つたので職工四百名を遂に退場せしめた。その他の工場も操業はしてゐるが能率は更にあがらず再び休業すべしとの説が濃厚となつて來た。

▲鐘紡及長崎紡の休業▼

青島 八月一日(木)

鐘紡職工はその後極度に悪化し操業を続けることが却つて危険を感じる状態に陥つたので一日夜操業を中止し休業するに至つた。なほ日本紡では宿舎内に全職工集合し何事か企てをる模様あるので目下警戒中である。

### 青島紡績争議益々悪化

#### 製糸・製材・燐寸會社の職工追出し

青島 七月卅一日(水)

憲へ通告した。ところが支那側官

職工のストライキで十日前より

憲より會社側の條件提出を希望し

て來たので次の三條件を提出した。

藤田總領事は一日朝吳代理市長

を訪問して休業中の青島糸廠、山東、華祥兩燐寸會社、和田製材所

の四會社が一日限り在寄宿舎の職工全部を退去せしむることになつたので萬一の場合を考慮して支那側の取締りを要求すると共に紡績職工に對する支那官憲の取締りが不徹底なるによつて起れる種々の實例をあげ嚴重なる交渉をなしめた。紡績職工の風潮は益々悪化するのみで出勤さへすれば給料にありつけるといふ對策の下に出勤率は寧ろ平常より増加しても意業は益々露骨となり鐘紡の如きは一日朝粗紡、精紡の怠業で原料の不足を生じ、織機九十八臺は運轉を中止するの止むなきに至つたので職工四百名を遂に退場せしめた。その他の工場も操業はしてゐるが能率は更にあがらず再び休業すべしとの説が濃厚となつて來た。

▲鐘紡及長崎紡の休業▼

青島 八月一日(木)

鐘紡は一日より操業を止め遂に臨時休業をしてゐるが、長崎紡績操業を続けることが却つて危険を感じる状態に陥つたので一日夜操業を中止し休業するに至つた。なほ日本紡では宿舎内に全職工集合し何事か企てをる模様あるので目下警戒中である。

青島 八月二日(金)

鐘紡は一日より操業を止め遂に臨時休業をしてゐるが、長崎紡績操業を続けることが却つて危険を感じる状態に陥つたので一日夜操業を中止し同四時完全に職工等を退場せしめて休業を宣告した。支那官憲では盛んに泣きを入れてゐるが工場側の態度頗る强硬である。

▲富士紡も休業▼

青島 八月三日(土)

富士紡工場も本三日午後三時職工の怠業著しく悪化したので遂に休業を爲すに至つた。これにより

工場閉鎖を斷行したわけである。

二、インド總督に請願して脅迫行為を取締る特別法令を發せしめる。

綿布關稅を現行の從價制度より從量制度に變更することの可能性を調査することになりカルカツタ稅關長ハーディ氏を調查委員長に任命した。同時にハーディ氏は一九二七年以來のインドの綿製品輸入

を計る爲に右報告を自己に有利に利用せんとした。これは職工側に不快の念を抱かせた。偶々ワザ系の紡績會社が能率増進に藉口し職工六千人を減員した。これに對し職工組合側の左派的傾向にある

がこれが從量稅に變更される様

なることになることになつてゐる。現行の印度綿布關稅は從價割一分である。

綿布關稅を現行の從價制度より從量制度に變更することの可能性を調査することになりカルカツタ稅關長ハーディ氏を調査委員長に任命した。同時にハーディ氏は一九二七年以來のインドの綿製品輸入

を計る爲に右報告を自己に有利に利用せんとした。これは職工側に不快の念を抱かせた。偶々ワザ系の紡

## インド棉花市況

ボンベイ 八月三日(土)

### カルカツタ地方の デュート工場罷業

カルカツタ 七月廿九日(月)

米棉先物に併行して昂騰した。ヨーロッパ及び東洋からの需要は僅少に過ぎなかつた。紡績會社も目下作業中のもの相當多數に上つてゐるが未だ目星しい買物を出しつてはゐない。

過去十五ヶ年

八月初め棉花相場

現物 李浦

孟買ア

ローチ

大阪

電信

米日

當限

爲替

工場

電信

米日

五年

九十五

九五

九四

九三

九二

九一

九〇

九九

九八

九七

九六

九五

九四

九三

九二

九一

九〇

八九

八八

八七

八六

八五

八四

八三

八二

八一

八〇

七八

七九

七八

七七

七六

七五

七四

七三

七二

七一

七〇

七九

七八

七七

七六

七五

七四

七三

七二

七一

七〇

七九

七八

七七

七六

七五

七四

七三

七二

七一

七〇

七九

七八

七七

七六

七五

七四

七三

七二

七一

七〇

七九

七八

七七

七六

七五

七四

七三

七二

七一

七〇

七九

七八

七七

七六

七五

七四

七三

七二

七一

七〇

七九

七八

七七

七六

七五

七四

七三

七二

七一

七〇

七九

七八

七七

七六

七五

七四

七三

七二

七一

七〇

七九

七八

七七

七六

七五

七四

七三

七二

七一

七〇

七九

七八

七七

七六

七五

七四

七三

七二

七一

七〇

七九

七八

七七

七六

七五

七四

七三

七二

七一

七〇

七九

七八

七七

七六

七五

七四

七三

七二

七一

七〇

七九

七八

七七

七六

七五

七四

七三

七二

七一

七〇

七九

七八

七七

七六

七五

七四

七三

七二

七一

七〇

七九

七八

七七

七六

七五

七四

七三

七二

七一

七〇

七九

七八

七七

七六

七五

七四

七三

七二

七一

七〇

七九

七八

七七

七六

七五

七四

七三

七二

七一

七〇

七九

七八

七七

七六

七五

七四

七三

七二

七一

七〇</



